

# 「有難う。君のお蔭で人生の本当の意味を知った…」

— 心臓発作の術後ICUで親友を得た、気の良いメタボの人気脚本家—

映画・健康エッセイスト こもり 小守 ケイ

「書けない…」。ローマの夏の夜。小太りで禿げ頭の45歳のアルベルトは、2度離婚、若い女優と同棲中の脚本家。スランプ中で眠れず、くわえ煙草でバーへ行く。「胸が喰いちぎられた様に痛い!」。急遽、夜間外来に飛び込むと、丁度、酸素吸入された中年男が泣きじゃくる妻と共に緊急搬送されて来た。「夫の名はアンジェロ、41歳の自動車修理工場主。心臓病薬? 飲んでるわ」。

## ステント再閉塞の監視中に…

「心筋梗塞だ!」。勝手に冠動脈科に行ったアルベルト。ナースは呆れるも心電図に筋変性が出ると「すぐ手術よ!」。だが、その時、「心室の多発性期外収縮。こっちが先だ!」とアンジェロのストレッチャーが!

医師は「除細動だ! 最大電圧で!」と心拍を再開させ、意識も確認して妻を安心させ、一方、次のアルベルトは狭心症だったため、軽口を叩きながら冠動脈の狭窄部にステントを挿入した。

ICUで隣り合った2人。興奮したアルベルトが泣いていると、アンジェロが「泣くなよ。助かったんだぜ」。それを機に話し始めた2人—自己紹介も虚実混ざった面白話の脚本家、その想像力に感心する工場主。「監視中は安静に!」。

## 「俺達、何でこんな目に? 原因は?」

翌日もアルベルトのお喋りは尽きないが、ふと真顔で「俺達、何で発作を? 考えよう」。するとアンジェロは「親父は俺の歳で突然倒れて死ん

だ…」と応え、アルベルトはまた涙ぐむ…。その後の面会時間。アルベルトには恋人と業界仲間が、アンジェロには妊娠中の妻と母、中学生の娘、小学生の息子が来る。2人とも喜ぶも面会後はげっそり、「ヘトヘトだ…」。

「腹が減った。出前でも」。3日目、点滴が外れたアルベルト、まだ点滴中のアンジェロを無理やり連れ出し、ナースの所へ。「ダメ! 戻って!」。その後、アルベルトは主治医に呼ばれ、「退院だ。家でリハビリを。酒煙草は絶って毎日1時間の速歩を。1か月後は心機能検査だ」。寂しげなアンジェロを残して、迎える恋人と退院した。

## 「アルベルトは親友。彼に家族を託したい」

「その後、どう?」。退院後のアルベルト、再狭窄の不安で仕事にならず、アンジェロの工場へ。薬を飲みつつ事業拡大させてきた彼も「再発作が心配で…」と、2人は一緒にローマの街を速歩し始める。やがて、術後1か月の心機能検査、アルベルトは85%で合格するも、アンジェロは20%…。しかし70%と偽り、脚本が書けず無収入で恋人も去ったアルベルトに、「うちに住めよ」。帰宅後は臨月近い妻と外出させ、一人病院へ行き、心筋梗塞の拡大から死期を悟る…。

「君も一緒に」。夏休みの別荘。アルベルトは反抗期の娘に寄り添い、息子には“お話作り”を教え、自身も家族といると筆が進む。その姿にアンジェロは安堵するも、アルベルトは故意に妻を近づける彼に立腹、「何だッ!」。青白い顔の



©2009 Cattleya S.p.A.-Rai Cinema S.p.A.-Cinemello S.r.l.  
販売：東映株式会社 発売：東映ビデオ株式会社  
写真：アンジェロ(左)とアルベルト(右)

## 映画「ハートの問題」

フランチェスカ・アルキブージ監督、2009年、イタリア

アンジェロは指で“20%”を示した…。

秋。血栓が改善したアルベルトは恋人の元に戻り、この顛末を順調に書き進める中、再発作に襲われたアンジェロは父と同年で逝った…。懸命に遺族を支え、親友との約束を果たすアルベルト、「君だけが僕を信じてくれた」。



### Cinema View

お喋りだが孤独なアルベルトが入院で得た友人や彼の家族と信頼関係を築き、人生を見つめ直す人間ドラマ。ローマの街や自然を背景に、彼の豊かな想像が産む世界や巧みな“お話作り”の面白さ等で観客を魅了しつつ、深刻な病気に直面した中年男の姿を笑いや涙を織り交ぜて温かに描く。09年ヴァレンシア地中海映画祭受賞作。

## 心筋梗塞の二つのタイプ

心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患は、冠動脈に動脈硬化が生じ、閉塞することで発症する。予後は閉塞の程度、範囲により大きく異なる。

動脈硬化の発症・進展因子は、高血糖や脂質代謝異常、高血圧、喫煙、運動不足などである。特に高コレステロール血症は心筋梗塞の強力な危険因子であり、アンジェロは父も若年で心臓死しているため、常染色体潜性の家族性高コレステロール血症と考えられる。心筋梗塞は30歳代から発症するので、小児期に診断し治療を開始する必要がある。まずスタチンやエゼチミブを服用し、無効ならPCSK9阻害薬<sup>注)</sup>注射を併用する。ホモ接合体の場合は、アフェレーシスが必要になる。

一方、腹部肥満のアルベルトは、内臓脂肪の過剰蓄積によるメタボリックシンドロームである。内臓脂肪からアディポサイトカインが異常に産生、放出されるため、動脈硬化が進展する。対策は生活習慣改善が第一で、食事・運動療法で減量し、内臓脂肪を減少させると病態は改善する。減量しても改善しない高血糖、高血圧、脂質異常に対しては、薬物治療を行う。無症状であっても放置すべきではない。

心筋梗塞回復期には、日常生活への早期復帰、及び、心肺機能や筋力の強化による再発予防を目的に、歩行や速歩などの心臓リハビリを行う。心機能検査での運動目標は、最大酸素摂取量の40～60%である。

### 監修

公益財団法人  
結核予防会 理事  
総合健診推進センター 所長

みや ぎき しげる  
宮 崎 滋

注) PCSK9 阻害薬：モノクローナル抗体薬。LDL コレステロールを増加させる PCSK9 に結合し、LDL コレステロール値を低下させる。